

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サポート大手町		公表日		R8年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		エリアで明確化している。工夫できている。療育室内を仕切りで分けている	小集団での生活空間を提供しており、特性に応じスペースを管理しています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		施設基準に沿って運営してまいります	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	柱をスペースで分け、エリア空間を分けている	玄関の段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の清掃をシステム化し清潔な環境を保っています。利用児により、エリアの案内をすることで、快適空間を作っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個室エリアを設けている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々振り返りを含めた支援会議を行っています。	定期的に随時振り返りを行い、目標設定の確認と振り返りを行っています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		メールや電話で連絡をとり、保護者の意向を聞き改善に努めています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議を日頃から行い、密に意見交換を行っている。業務改善に繋げている	今後も継続予定
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			外部評価を周知し業務改善に遇進して参ります
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修を設けている。法人外の研修も取りいれ実施しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		個別・集団など様々な角度から立案を行い、支援プログラムの作成・公表ができている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントにて保護者のニーズの把握を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援会議にて協議・共有を重ね職員の共通理解の下運営しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援会議にて協議・共有を重ね職員の共通理解の下運営しています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		状況に応じ有識者との意見交換を行い、最善を尽くしている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		児童発達支援管理責任者先導の下、支援ができている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		資格者それぞれが立案を行い、チームで話し合いを行っている	季節のイベントを含め幅広く活動計画を行い実施しています
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		週案・日案をバランス良く行っている。微細・粗大を分けている	今後も個々の特性をふまえ、適切な活動計画をたてていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の特性に合わせた活動を提供し実施しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		日々入念な職員会議でスキルアップや事故防止に努めています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		ヒヤリハットを含め支援内容の振り返りを行い、支援向上に繋げています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		デジタル・アナログの両面より記録を実施し支援内容の検証・改善を行っています	文字だけではわかりにくい部分は写真や動画で共有を行っています。

関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		日々変化する状況をモニタリングにて理解し、適切な活動を行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		制作活動の種類を選択できるよう準備している。気持ちの表出を促し自主性を育てている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		支援員が参加し、状況説明及び計画に対する説明を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		個々の事情をふまえ、最善の連携を行っています	今後も関係機関と連携し情報共有や相互理解に努めています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		担任や管理職員と密な連携を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	移行の時期は特に密な連携を行い、療育内容の向上を目指しています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当児童なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		事業所内で児童との交流がある	
保護者への説明等	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		参加機会を増やしていきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日頃より保護者への連絡を行い、発達状況の共有を行っています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		必要に応じ開催の計画をたてて参ります
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		いつも丁寧な説明をしてくれている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者のニーズを把握し、子どもの意思の尊重を踏まえた上で適切な活動を提供を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時面談や電話・メールにて相談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速な対応を行っています。	今後とも迅速かつ適切な対応を行っていきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		アナログ・デジタル共に十分留意しております	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		聴覚・視覚それぞれ可能な伝達方法で配慮を行っています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		積極的な参加を行っています	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		定期的に訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に訓練を行っています。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			該当児童なし	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当児童なし	該当児童がいる場合は対応致します
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		ご家族と連携し周知を行っています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		日々再発防止に向けてヒヤリハットを行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			身体拘束の3原則を記載しています